

厚内公民館だより



令和4年11月25日発行

発行責任者：厚内公民館長

厚内花いっぱい運動・花壇じまい 地域の皆様有り難うございました。

地域の皆さまには、今年も「厚内花いっぱい運動」に率先して参加して頂き大変有り難うございました。お陰様で花々が元気に咲きそろい、毎朝夕、スクールバスに乗降する児童・生徒の皆さんにエールを送っているようでした。来年も宜しくお願い致します。

先日、菅原さんから堆肥を無償で提供して頂きました。この場をかりてお礼申し上げます。

令和4年度厚内花いっぱい運動実行委員会
実行委員長 橋本 進

実行委員の皆様

厚内1・3区行政区長、厚内2区行政区長、厚内4区行政区長、厚内5区行政区長、公民館運営審議会厚内内部会長、漁協女性厚内支部長、厚内市街婦人会長



パタン・パタン・パタンこ・・・!

少し前まで年の暮れになると何処の家からも鳴り響いていた音・・・。



厚内公民館前庭で
餅つき体験交流会を行います!

誘い合ってご参加下さい!

12月17日(土)午前10時～正午頃迄

- ◎地域で進めよう!! 「挨拶」「早寝、早起き、朝ごはん」「ノーテレビデー」「家読・朝読」運動
- ◎町民みんなで体力づくり!!
- ◎小中一貫コミュニティ・スクールの推進

11月下旬・12月の予定

25日(金)	懐かしの映画会「浮草物語」昭和9年
28日(月)	教育委員公民館訪問
30日(水)	寿大学運営委員会
11月末まで	厚内に来襲した津波写真展
12月1日(木)	公民館運営審議会第2回厚内部会
2日(金)	公民館講座「オリジナルマフラー手編み教室」第1回
5日(月)	ふまねっとの会
6日(火)	懐かしの映画会「出来ところ」昭和8年
7日(水)	寿かもめクラブ
9日(金)	公民館講座「オリジナルマフラー手編み教室」第2回
12日(月)	健康カラオケ教室
13日(火)	初心者マージャン体験教室
14日(水)	公民館まつり準備委員会(予定)
15日(木)	巡回図書館・懐かしのレコードコンサート
17日(土)	寿大学3世代餅つき交流会
19日(月)	ふまねっとの会
20日(火)	そば打ち同好会
21日(水)	寿かもめクラブ
24日(土)	親子クリスマス・クッキー作り教室(予定)
28日(水)	仕事納め
29日～1月3日	年末年始休館いたします
4日(水)	仕事初め

公民館講座

「アレンジマフラー手編み教室」

大切なお友達に・・・、家族に・・・、
冬のアイテムに一ついかがですか?
開催日時:12月2日(金)・9日(金)の
2回講座

両日とも10時～12時迄
(途中参加や居残りもOKです)

会場:厚内公民館 研修室
講師:エプロン工房 代表 山本ひとみさん
会費:500円(材料費)
持ち物:自宅に余っている毛糸があれば持参しても大丈夫です。毛糸針は公民館にあります。
申し込み問い合わせは厚内公民館へ(578-2407)

公民館講座「初心者マージャン体験教室」

日時 12月13日(火)
13:30～15:00

会場 厚内公民館
※頭脳と指先のリフレッシュにいかがですか。

浦幌町教育の日(毎日が教育の日です)



厚内の宝物は 豊かな自然と 人々の穏やかな営みと学び

町内の小学生たちが、厚内でふるさと学習・・・「鮭さばき」に挑戦 !!

10月20日、厚内公民館前庭の特設テントで、浦幌小学校6年生20名と、上浦幌中央小学校5・6年生の9名を対象とした「鮭のさばき方教室」が行われました。

浦幌学園小中一貫CS委員会と浦幌小学校・上浦幌中央小学校・厚内の各種関係団体が共催して「ふるさと学習」の一環で行われたこの教室のねらいは次の三つです。

- 浦幌(厚内)でとれる鮭に興味・関心を持ち、鮭の見分け方、さばき方を積極的に学ぶ
- 命のありがたみと尊さ、食に対する感謝の気持ちを育む
- 浦幌町の産業、漁業に関心を持つ

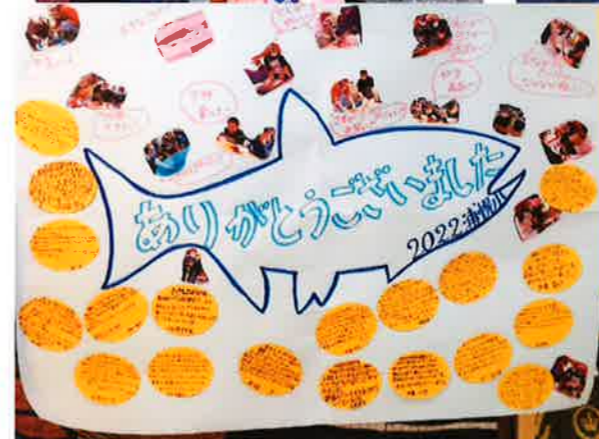
当日は天候にも恵まれ、抜けるような青空の下、七協水産の八木忠宏代表と漁業関係者3名、大津漁協女性部厚内支部と厚内市街婦人会の8名が指導にあたりました。八木さんは生きている鮭を手に取り、雌雄を比較しながら見分け方や、鮭さばき用のマキリの安全な使い方を実演しながら丁寧に説明されました。児童は8班に別れ鮭さばきに挑戦、大きな魚に初めて触れる子が多かったのですが世話人の指導のもと慣れない手つきで鮭の頭を落とし、内臓を取り出し三枚におろしていました。



八木さんは「鮭は生まれた川に戻り卵を産んで死んでいく。私達はその命を頂いている」と命の大切さを子ども達に伝えていました。



鮭さばき終了後、参加者全員で秋鮭と地物野菜がたっぷり入った秋味鍋に舌鼓を打ち、子ども達は晩秋の厚内で「命と食を探り学ぶ」有意義な一日を過ごしました。



児童から、お礼のメッセージが届いています。厚内公民館で掲示しています。ご覧下さい!!



上浦幌中央小学校 5・6年生
2022年10月20日



懐かしの映画会

●十一月二十五日 十三時より
 題名「浮草物語」
 小津安二郎監督 昭和九年作

●十二月六日 十三時より
 題名「出来ころ」
 小津安二郎監督 昭和八年作

懐かしのレコードコンサート

●十二月二十五日 十三時より
 昭和四十年代五十年代の懐かしいレコードを聴いてみませんか

文芸厚内 氷月の巻

四季の移ろいや日常の営みから
 生まれた言葉を紡いでみませんか
 ※投稿をお待ちしています

俳句
 晩秋のふる里街道歎みち
 カレンダー燃ゆる紅葉の捨てがたし
 川柳
 温かく迎え待つのは便座だけ
 税金が日割に化けて小遣い銭

皆川昭徳

俳句
 朝夕の白露きらめく道すがら
 綱雲想いめぐらし茜雲

短歌
 埋没するどんな足掻きも苦しみも
 所詮は時の流れの中に
 誇らしい善き人々に恵まれし
 今吾ここに生きているやに

佐藤成子

俳句
 枯れ落葉埋まりし野猫モフモフと
 畑仕舞い来年こそはと気は急いで
 秋深し雄鹿の声響く宵
 寒風に追い立てられて止まり木へ
 師走来て厚内駅は大遠層
 寒蟹の茹で汁美味し宵の酒

佐藤芳雄

**11月17日、厚内公民館図書室に新刊が100冊
 入りました。ご利用をお待ちしております。**



ウクライナ危機後の世界
 船の仕事海の仕事
 やせる！ウォーキング
 大泉エッセイ
 カチコチ体が十秒でみる
 みるやわらかに
 居酒屋うれい
 かぎ針で編むクリスマス
 雑貨
 他 93冊

雄鹿とにらみ合い
 帰宅時、毎晩のように大きくて真っ黒な
 雄鹿に遭遇する。背後には十数頭の雌鹿と
 小鹿を従え悠々と牧草を食べ時折鋭い眼
 光を周りに放っている。国道までの間に少
 なくとも三つのグループがあり、そこを通
 るには細心の注意が必要だ。時には道路上
 で威嚇してくる猛者も..又、雌鹿は車が目
 前に迫ってきても急に横断、事故も度々起
 きているようだ。 =常に予知運転を!!=
 (そのけそのけお鹿が通る..! 館長談)

特集 厚内公民館小企画展

終戦記念展示会「戦争体験を語る」

令和四年八月三十日
 寿かもめクラブにて収録

(前号から続く)

館長 横山さんは青森出身ということでした
 が、その頃はどうか？

横山 うちが青森で、空襲されるといふ事
 畑に防空壕を掘って親子で住んでました。B
 29っていう大きな飛行機が頭上を飛び親に
 怒られながら防空壕に逃げ込みました。小さ
 い飛行機も何十機と飛んでました。それで青
 森が火の海になって次の日に何千人と亡くな
 っていました。私は少し離れた田舎にいたか
 ら助かりましたが、その時はひどかったで
 す。戦争に負けてから、アメリカ人が、沖か
 らボートで岸に上陸。2、3人で人の家に入
 って時計とかいいものを盗って持って行くん
 です。私が十一歳か十二歳の頃です。おっ
 かなくてアメリカ人が陸に上がってきたら恐
 くて、恐くて..

その頃、男の人が来て、人さらいか売られ
 たのかわかんないけど、二十才ぐらいの若い
 女の人達が連れていかれてました。恐ろしく
 て水を飲みたくても水汲みにも行けなかつた

です。危ないから家にいなさいと親に怒られ
 てね..。戦争の頃のことは今でも忘れられな
 いです。

青森市内では沢山亡くなりました。下水に
 片足入れて亡くなってるとか真面に見られ
 ない人も..。沢山いました。ほんとひどい目
 にあつてきましたよ。今度ね、お米がなくて
 ね、芋とかかぼちゃとか煮たものを食べさせ
 てもらっていました。

館長 玄米について白米にする作業はしたこ
 とありましたか？

横山 石臼でやっていたことはあるけどね。
 皆川 白で精米するほどお米がなかったから
 ..。
 木下 昔はまずい物を食べていた。今の食べ
 物は贅沢。当時は燕麦、いなきび、デントコ
 ーン、豆、ひえを米の代わりに食べていたん
 だよ。

館長 終戦の時、ラジオで天皇陛下のお話を
 聞かれましたか？

西森 家にラジオがなかったから聞いてない
 けど、終戦になったよとかは後から人伝えに
 聞きました。

館長 佐藤さんは樺太生まれでしたね。ま
 だ、幼かったと思いますがどうでしたか？
 佐藤 小さかったので戦時中は飛行機が
 飛んでる..。爆弾落ちてきて怖い..。ぐらい

の記憶しか無いです。ただ終戦になって覚え
 てるのは、家の神棚の横に昭和天皇皇后両陛
 下の写真が飾られていて、それまで毎朝参拝
 していた父が終戦の時、写真の前で正座して
 わんわん泣いていたことを覚えてます。私
 は、何で親がこんなに泣いているのかその時
 は解らなかつたです。

館長 引き揚げる頃はどうか？
 佐藤 帰ってきた時は、昭和二十三年だから
 私は八、九歳頃で樺太はソ連の制度になって
 いました。小学校の入学式は九月。米は一切
 販売禁止になり黒パンを食べていました。黒
 パンはしょっぱいだけ..。黒パンは配給
 されていて、いもとか、野菜とかトツカリと
 かの肉を煮てそのスープに黒パンをつけて食
 べていました。うそっぽく聞こえるかもしれ
 ないけど、私の家はログハウスみたいな2階
 建ての家でした。復員前の怪我をした兵隊さ
 んを何人も泊らせ面倒をみていました。
 日本人の若い女性達はロシア人に襲われと
 いう事で、髪を切られ、男の服を着せられ
 ていたのを覚えてます。

引き上げる頃にはパスポートが無きゃい
 けない時代でしたが、父親がパスポートを紛
 失してしまい家族全員マオカの収容所に入れ
 られ予定の船に乗ることができませんでした。
 が、それで生き残れたのです。(次号へ続く)